

お知らせ

平成 24 年 1 月 17 日

市光工業株式会社

ICK1201

市光工業株式会社
株式会社日立ソリューションズのグローバル高速データ転送サービスを導入
～海外拠点における 3 次元 CAD データの転送に要する時間を
1 月あたり約 200 時間削減し、開発を効率化～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市板戸、代表取締役社長：オードバディアリ、以下 市光工業）では、株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：林 雅博、以下 日立ソリューションズ）のグローバル高速データ転送サービスを導入し、海外拠点との 3D CAD データの受け渡しに要する転送時間を、1 月あたり約 200 時間と大幅な削減を実現しました。

市光工業では、拡大するアジアの自動車市場に対応するため、事業のグローバル展開を加速しており、海外の生産拠点や取引先とのデジタルデータの受け渡しが増加しています。コストを抑えながら、リードタイムの短縮や設計品質の向上を実現し、開発を効率化するため、国内の設計部門で仕様書を作成し、海外で製品設計情報を CAD データ化、それを製造するという工程が多くなっています。しかし、高度な配光シミュレーションによって計算され複雑なパターンにカットした反射板などをはじめとした 3 次元の CAD データは、部品一つだけでも容量が 100 メガバイトを超えます。そのデータの授受が 1 日に 10 回以上行われることも珍しくなく、日本国内と比較して通信インフラの整備が遅れている海外地域との大容量データの送受信が、開発作業の進捗を妨げる問題がありました。

そこで、市光工業は、2011 年 4 月から、多重伝送技術で高速かつ安全に大容量データを転送することができる、日立ソリューションズのグローバル高速転送サービス「活文デジ活ワイド」の一部導入を始めました。これにより、これまで 5 時間程度かかっていた海外への 100 メガバイトを超えるデータの転送を、わずか数分で完了できるようになりました。同社では、同年 11 月より、中国やマレーシア、インドネシア、タイにある 6 つの海外拠点と、国内のテクニカルセンターを結ぶ CAD データ転送システムにおいて、同サービスの本格運用を開始し、グループ全体で 1 月あたり約 200 時間のデータ転送時間の削減を実現しました。

同社の CAD データ転送システムに採用された「活文 デジ活ワイド」は、複数の HTTPS 通信を同時に利用する多重伝送技術により、ギガバイト単位の大容量データの高速な受け渡しを実現します。また、SaaS (Software as a Service) 形態での提供されるため、初期投資やサーバの構築を必要とせず、既存のインターネット回線で利用することができます。さらに、HTTPS で通信内容を保護することで、高度なセキュリティ性を確保しています。当サービスの選定にあたっては、日立ソリューションズと同サービスに関するパートナー契約を結んでいる兼松エレクトロニクス株式会社から紹介を受け、検証評価を経て導入に至りました。市光工業では、スピード、安全性、コストを両立した同システムを利用することで、セキュリティを確保しつつ、迅速なデータ転送を実現する環境を、初期投資を低く抑えて構築し、製品設計作業の効率の向上と作業負荷の低減を実現しています。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年に創業した、自動車用ランプ、ミラー、その他自動車部品の開発、設計、製造、販売を行う専門メーカーです。1932年には初代ダットサンにヘッドランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納式ドアミラーを製品化、現在も次世代の超低消費電力 LED ヘッドランプなど独自の製品開発を行っており、トヨタや日産をはじめとする国内全ての自動車メーカー及び海外メーカー、アフターマーケット向けに製品を供給しています。市光グループは、国内にテクニカルセンターを含め10カ所の拠点、中国やマレーシア等アジアを中心に6つの海外拠点を有しており、総従業員数は4,721名(2011年3月末現在)です。国内において、自動車用ランプで約19%、ミラーで約15%の市場シェアを誇っています。

<株式会社日立ソリューションズとは>

日立ソリューションズは、2010年10月1日に日立ソフトウェアエンジニアリングと日立システムアンドサービスが合併して誕生した新しいソリューションプロバイダーです。お客様の業務ライフサイクルにわたり、オンプレミス・クラウド連携を始めとする豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する『ハイブリッドインテグレーション』を実現します。

<兼松エレクトロニクスとは>

兼松エレクトロニクス株式会社は、1968年に設立された、製造から流通・金融・サービスまで幅広い業種の企業から信頼を得ているトータルソリューションプロバイダーです。日本企業のアジア圏進出も支援しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

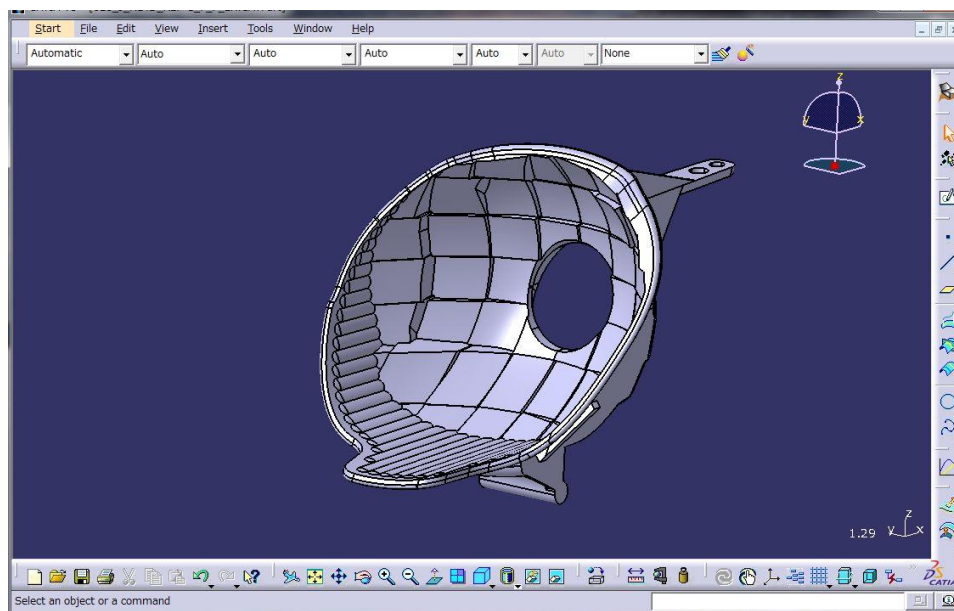
市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442
(株)VAインターナショナル
田中/亀有
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017



グローバル高速データ転送システムのイメージ



ヘッドランプの反射板の 3D CAD データのイメージ例